

低温熱傷後皮膚潰瘍 保存的治療

抗菌性創傷被覆・保護材
アクアセル®Ag Extra 使用例

監修：医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院
形成外科 山下理絵／近藤謙司

治療経過 1 | 貼付するドレッシングのサイズ選び



治療開始時

創面よりも
全周1cm程度大きいサイズの
アクアセル®Ag Extraを貼付



症例紹介



部位：左下腿外側

湯たんぽによる低温熱傷

(40代女性)

〈経過〉

- 受傷後他院にて6週間軟膏加療後に当院受診
- 赤色肉芽と黄色壊死組織(スラフ)が混在する黄～赤色移行期
- 外来通院治療開始

治療経過 2 | カバードレッシングで固定



ポリウレタンフィルム使用例

メリット

- 観察が容易
- 乾燥を防ぐ
- 衣服との擦れからまもる
- 入浴ができる

治療経過 3 | 治療継続の判断



治療開始3日目

創洗浄後創周囲に炎症兆候がないことを確認
黄～赤色移行期
感染予防、滲出液コントロール、やさしいデブリードマン、
肉芽増殖を併行して促進する目的で継続使用する



治療開始10日目

創傷が変化する時期

アクアセル®Ag Extraを2週間程度継続使用していると滲出液のコントロールと肉芽の状態の良化が同時にすすむ場面をしばしば経験する

アクアセル®Ag Extra 安全使用のポイント

段階的に交換間隔を延長する

創周囲皮膚の炎症兆候がなく、滲出液のコントロールが進むと2日から数日間の貼付が可能になる。創部の形に一致してゲル化している状態(赤矢印)であれば交換不要。ゲル化が創傷よりも広がっているようであれば交換する。

治療経過 4 | 観察ポイント



以下の場合には交換してください
左写真はややオーバーフロー気味
白丸部分に創面の露出を確認

アクアセルAg Extra 安全使用のポイント

「使用開始時は翌日交換」

ドレッシングが完全に飽和する前に交換。

「創面を露出させないサイズ選択」

ゲル化したドレッシングが創に密着することで広範囲な細菌に対し、速やかで持続性のある抗菌効果を発揮し感染予防につながる。^{*1}



アクアセルAg Extra

抗菌性創傷被覆・保護材

治療経過 5 | 2～3週間で治療方針を再検討



治療開始20日目

銀含有創傷被覆材は
2週間程度経過した時点で
創の状態を再評価することが
推奨されている^{*2}

アクアセルAg Extra 安全使用のポイント

「創部を乾燥させない ドレッシングを選択」

滲出液のコントロールが進むと創傷部位を乾燥から守る必要がある。透過性の低いポリウレタンフィルムやデュオアクティブ[®]シリーズが有効。^{*3}



治癒後30日

治療後の評価

- デブリードマン、植皮等の手術を回避し保存的に治癒した。
- 交換時、貼付中いずれも疼痛が問題になることはなかった。
- 日常生活に支障なく治療が継続できた。

【警告】

明らかな臨床的創感染を有する患者には慎重に使用すること。

【感染を悪化させるおそれがある。臨床的創感染を有する患者であっても感染に対する薬剤治療や全身・局所管理をしながら創傷被覆材を併用することが有益と医師が判断する場合には、局所の観察を十分に行ない、慎重に使用すること。】

【禁忌・禁止】

再使用禁止

本品または本品の構成成分に対して過敏な人またはアレルギー反応を有する人に、本品を使用してはならない。

使用目的、効能または効果

- 皮下脂肪組織までの創傷（Ⅲ度熱傷を除く。）に対する「創の保護」、「湿潤環境の維持」、「治癒の促進」、「疼痛の軽減」を目的とする。
- 本品は感染を引き起こす可能性が高く滲出液を伴う創傷に使用すること。

保険適用

皮膚欠損用創傷被覆材 皮下組織に至る創傷用 標準型

適用期間：2週間を標準とし、特に必要と認められる場合については3週間を限度とする。

保険請求 償還価格による。

販売名：アクアセル[®]Ag Extra

医療機器承認番号：22600BZX00199000 医療用品（4） 整形用品

高度管理医療機器 抗菌性創傷被覆・保護材 JMDNコード：34614000

※ご使用前には添付文書を必ずお読みください。

特定保険医療材料

| 形状 | 規格 | 包装 | 注文番号 | 保険償還単位 / 枚 |
|------|---------|---------|-------|--------------------|
| シート状 | 5×5cm | 10枚 / 箱 | 00426 | 25cm ² |
| | 10×10cm | 10枚 / 箱 | 00427 | 100cm ² |
| | 15×15cm | 5枚 / 箱 | 00428 | 225cm ² |
| | 20×30cm | 5枚 / 箱 | 00429 | 600cm ² |

参考文献

1. Jones SA, Bowler PG, Walker M, Parsons D. Controlling wound bioburden with a novel silver-containing Hydrofiber[®] dressing. *WOUND REP AND REG.* 2004; 12(3): 288-294.
2. International consensus. Appropriate use of silver dressings in wounds. An expert working group consensus. London: Wounds International, 2012. Available to download from: www.woundsinternational.com
3. Lisa MacGregor編. 真田弘美翻訳監修. 創傷滲出液およびドレッシング材の役割. World Union of Wound Healing Societies. Principles of best practice: Wound exudate and the role of dressings. A consensus document. LONDON: MEP Ltd, 2007.

®はConvaTec Inc.の登録商標です。©2017 ConvaTec Inc.

製造販売元

コンバテック ジャパン株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木1丁目8番7号

お客様相談窓口

0120-532384

<http://www.convatec.com>